

【議事録】 グループホーム Bruno 三葛・スマイルキューブ合同

第 1 回 地域連携推進会議

開催日時：2025 年 10 月 17 日（金） 10:00～11:00（60 分）

開催場所：グループホーム Bruno 三葛 フリースペース

出席者（敬称略）：

- ・基幹相談支援：谷口
- ・地域包括支援センター：阿川
- ・利用者代表 宮脇
- ・ご家族代表 沖林
- ・スマイルキューブ：松原
- ・代表理事／管理者：亀井 博樹

（※欠席：—）

- ・地域住民代表：旭橋地区 自治会長

記録者：—サービス管理責任者 保田美砂子

■ 1. 開会・趣旨説明（5 分）

・開会挨拶（亀井）：本会の目的は「地域との関係づくり」「透明性・質の確保」「お互いを
知る場の創出」。今年度の初開催として顔の見える関係を築く。

■ 2. 自己紹介（10 分）

- ・出席者が氏名・所属・関係性を簡潔に紹介。

■ 3. 事業所の紹介・入居状況（15 分）

【開設経緯】

・亀井より、家族当事者としての原体験と「親なき後」課題への問題意識を共有。衣食住に
関わる暮らしの場としてグループホーム運営に至った経緯を説明。

【現状】

- ・1 号棟（開設：令和 5 年 2 月 1 日）・2 号棟（令和 6 年 4 月開設）を運営中。
- ・3 号棟：令和 7 年 11 月、和歌山市島崎町にてマンションタイプを新規開設予定
- ・入退きの動き：既入居者の転入院／転居（マンションタイプへ）などを共有。

【支援方針】

- ・Bruno は「地域コミュニティの最小単位としての暮らしを支える場所」。
（家族的に“何でも代わりにする”のではなく、共同生活の中で生じる小さな“違和感”に向き
合い、互いに配慮して暮らす空間づくり＝ちょうどいい距離感を重視。）

【日常生活・医療連携等】

- ・通所・デイケア・移動支援の活用、余暇の過ごし方（買い物・地域滞在など）。
- ・通院介助、訪問看護（週 1～週 4 の利用者あり）。
- ・口腔領域：歯科往診（月 2 回）を開始。歯磨き困難者のサポート体制を整備。

■ 4. 地域との関係・意見交換（10 分）

【理念】

- ・グループホームを“自宅の延長”ではなく、地域コミュニティの最小単位と捉え、我慢・譲り合い・折り合い等の社会的スキルを共同生活の中で育む場とする。
- ・単独解決型ではなく、多機関連携（訪問看護・移動支援・相談支援等）で暮らしの継続性を確保。

【地域状況・課題】

- ・自治会の高齢化、役員なり手不足、地域活動の担い手確保が課題。
- ・ごみ置き場のカラス被害など具体的な生活課題の共有。

【参加・連携の方向性（意見）】

- ・まずは既存の地域行事（清掃、子ども食堂、祭り等）に“参加・協力”から関与する。
- ・グループホームの存在・活動を「まず知ってもらおう」ことが重要。
- ・挨拶・日常の接点（エレベーター、ゴミ出し等）での関係づくりを丁寧に。

■ 5. 研修・安全対策の取組共有（10 分）

- ・感染対策：嘔吐物処理手順の研修（動画視聴＋実地確認）。病院勤務者の知見を活用。
- ・消防・防災：中消防署から消火器を借用し訓練。夜間避難訓練も実施。津波時の避難先は南コミュニティセンター等を想定。手回しラジオ・バッテリー等の備え。
- ・外部研修：サービス管理責任者研修、強度行動障害支援研修 等へ職員派遣。
- ・虐待防止：事例報道を踏まえ、虐待防止の理解・未然防止の観点で定期的に共有。

■ 6. 今後の予定・確認事項（10 分）

- ・（構成員向け）現地見学：年明け（2～3 月頃）を目安に、事業所見学・具体の支援状況を確認する機会を設ける。
- ・地域向け周知：3 号棟マンションタイプ開設に伴い、地域への情報提供・挨拶・説明の場を検討。

【決定事項】

- 1) 年明け（2～3 月頃）に構成員向けの事業所見学会を実施する。
- 2) 地域行事は“参加・協力”から始め、関係づくりを進める。

【共有・周知】

- ・本議事録は、掲示および配布で周知（個人が特定されない配慮を徹底）。

【次回開催予定】

- ・2026 年 3 月（目安）。詳細は見学会の際に再協議。